

# 仏教音楽に酔いしれる

## 磐梯町 会津各地の名所巡る旅

磐梯町の主催イベント  
「ともし火と仏教音楽の夕

べく声明・夏の夜に響く

平安仏教へのいざない」に  
合わせた旅行企画「ともし  
火と仏教音楽の夕べ」を楽  
しむ旅は25日、会津各地で  
行われ、県内各地から集ま  
った41人の参加者が荘厳な  
仏教音楽の世界に酔いしれ  
た。アールエイチ企画の旅

行企画・実施、福島民友新  
聞社の共催。

声明とは、仏教の儀式・  
法要で唱える一定のリズム  
を持った音楽。同町の史跡  
慧日寺跡で開催され、今年  
で3回目。

参加者は会津若松市の鶴  
ヶ城や、会津の仏教文化の  
基礎を築いた高僧徳一ゆか  
りの寺院である会津美里町  
の法用寺、会津坂下町の恵  
隆寺立木観音、上宇内薬師  
堂などを見学後、旅行のメ  
ーンとなる声明を史跡慧日  
寺跡金堂前で鑑賞した。



史跡慧日寺跡金堂で奏でられた  
仏教音楽「声明」

金堂を囲むように配置さ  
れた約300基の灯籠の幻  
想的な光の中、県内の真言  
宗豊山派、室生寺派、新義  
真言宗の三派に所属する僧  
侶の有志たちで構成された  
「新義真言聲明三宝会」の  
会員約20人が太鼓やほら貝  
などによる演奏に合わせて  
声明を披露。参加者は、会  
場中に響き渡る厳かな音色  
に静かに聞き入っていた。